

新型インフルエンザの発生状況と予防のために

新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）の発生が 4 月に確認されて以降、前代未聞のスピードで世界中に感染が拡大し、現在、新型インフルエンザの警戒レベルはフェーズ 6 となり世界的な大流行（パンデミック）となっています。世界における患者報告数は 135 の国と地域で死者 429 人を含む 94,512 人となっています（7 月 6 日、WHO 最終報告）。日本では、7 月 23 日現在で 4,689 人の患者が報告されています。

感染症法の一部改正により、7 月 24 日からの集計方法は大きく変わりましたが、7 月 23 日までの滋賀県における患者報告数（検査によって確定された患者数）は 109 人となっています。

週別発生状況では、21～26 週（5/18～6/28）は散発的な発生でしたが、27 週（6/29～7/5）以降は、高校等における集団感染の発生により、患者数は急増しています（図 1）。

性別発生状況では、男性 71 人、女性 38 人で男性が全体の 65.1%を占めています。

年齢別発生状況では、10～19 歳が 70 人で全体の 64.2%と多くなっています（図 2）。また、保健所管内別発生状況では、大津市 30 人、草津 40 人、甲賀 12 人、東近江 9 人、彦根 11 人、長浜 5 人および高島 2 人となっています。

今後、季節性インフルエンザの流行時期と同時期に新型インフルエンザも流行することが危惧されています。そこで、インフルエンザを予防し、流行させないために十分な注意が必要です。

インフルエンザを予防するために・・・

- * 外から帰った時には、石けんで丁寧に**手を洗い**、手についたウイルスを洗い流しましょう。
- * 外から帰った時には、**うがい**をしましょう。
- * 十分に栄養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をしっかりしましょう。

インフルエンザの流行拡大を防ぐために・・・

- * **咳エチケット**を守りましょう。
 - ・咳やくしゃみをする時は、ティッシュなどで鼻と口を押さえ、他の人から顔をそむけ 1m 以上離れましょう。
 - ・使用したティッシュは、すぐにふた付きのごみ箱に捨て、その後は手を洗いましょう。
 - ・咳をしている人にマスクの着用を促しましょう。また、自分が咳をしている時は、周りの人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
 - ・マスクの使用は説明書を読んで、正しく着用しましょう。

今回の新型インフルエンザは、比較的軽症といわれています。今後、重症化するおそれを秘めている新型インフルエンザに備えて、日頃の予防習慣を身につけましょう。

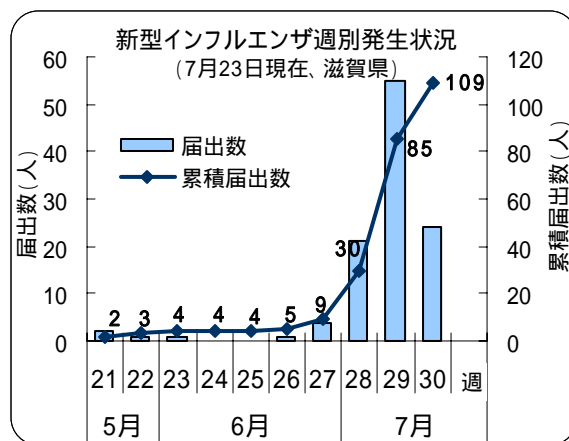


図 1 週別発生状況

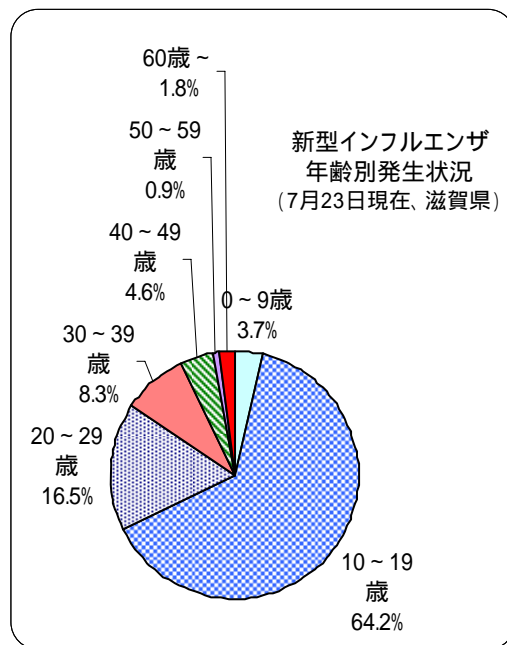


図 2 年齢別発生状況